

長野市人口ビジョン（改訂版）（案） の決定について

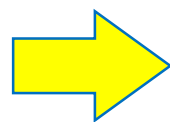
企画政策部人口増推進課

「第五次長野市総合計画後期基本計画」について、「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を統合し一体的に策定することに伴い、「長野市人口ビジョン」の改訂を行うもの

人口ビジョン：本市における人口の現状等を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すもので、長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を企画立案する上での基礎となるもの

長野市人口ビジョン（改訂版）のポイント

- 人口ビジョンは中長期的な目標であること
- 総合計画では基本構想にあたる部分であること



人口ビジョンの時点修正を行う

改訂内容

- 人口の将来展望「本市が目指す将来の姿」
“2060年人口30万人確保”は現行のビジョンから
引き続き採用
- “2060年人口30万人確保”のシナリオを、
最新の社人研推計（H30推計）を基に修正
- 各統計値は最新の値に更新

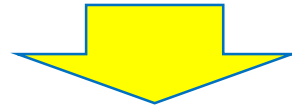
改訂
シナリオ

本市人口の将来展望 「本市が目指す将来の姿」

【現行】

	合計特殊出生率	死亡率	社会増減
社人研※推計 (H25)準拠 (H22国勢調査ベース)	現状維持 全国推計の子ども女性比の推移に合わせて、出生率を決定。合計特殊出生率が1.45～1.5程度で推移	全国推計の生 残率仮 定値の 推移に 合わせ た設定	一定程度で収束 2005～2010年の純移動率が、2015～2020年にかけて0.5倍に縮小し、その後は一定
現行シナリオ	2025年に1.84 (県民希望出生率) 2035年に2.07 (人口置換水準)		2020年に移動均衡 2025年以降 約80人増/年間

【改訂案】



	合計特殊出生率	死亡率	社会増減
社人研推計 (H30)準拠 (H27国勢調査ベース)	現状維持 全国推計の子ども女性比の推移に合わせて、出生率を決定。合計特殊出生率が1.52～1.54程度で推移	全国推計の生 残率仮 定値の 推移に 合わせ た設定	現状維持 2010～2015年の移動の傾向が今後も継続
改訂シナリオ案	2025年に <u>1.65</u> (第二期長野市子ども・子育て支援事業計画と整合) 2035年に <u>1.84</u> (県民希望出生率)		<u>2025年</u> に移動均衡

本市人口の将来展望 「本市が目指す将来の姿」

2060(令和42)年の人口

【現行】

23.2万人(社人研推計(H25)準拠)



6.8万人増

「本市が目指す将来の姿」
30.0万人を確保



3万人増

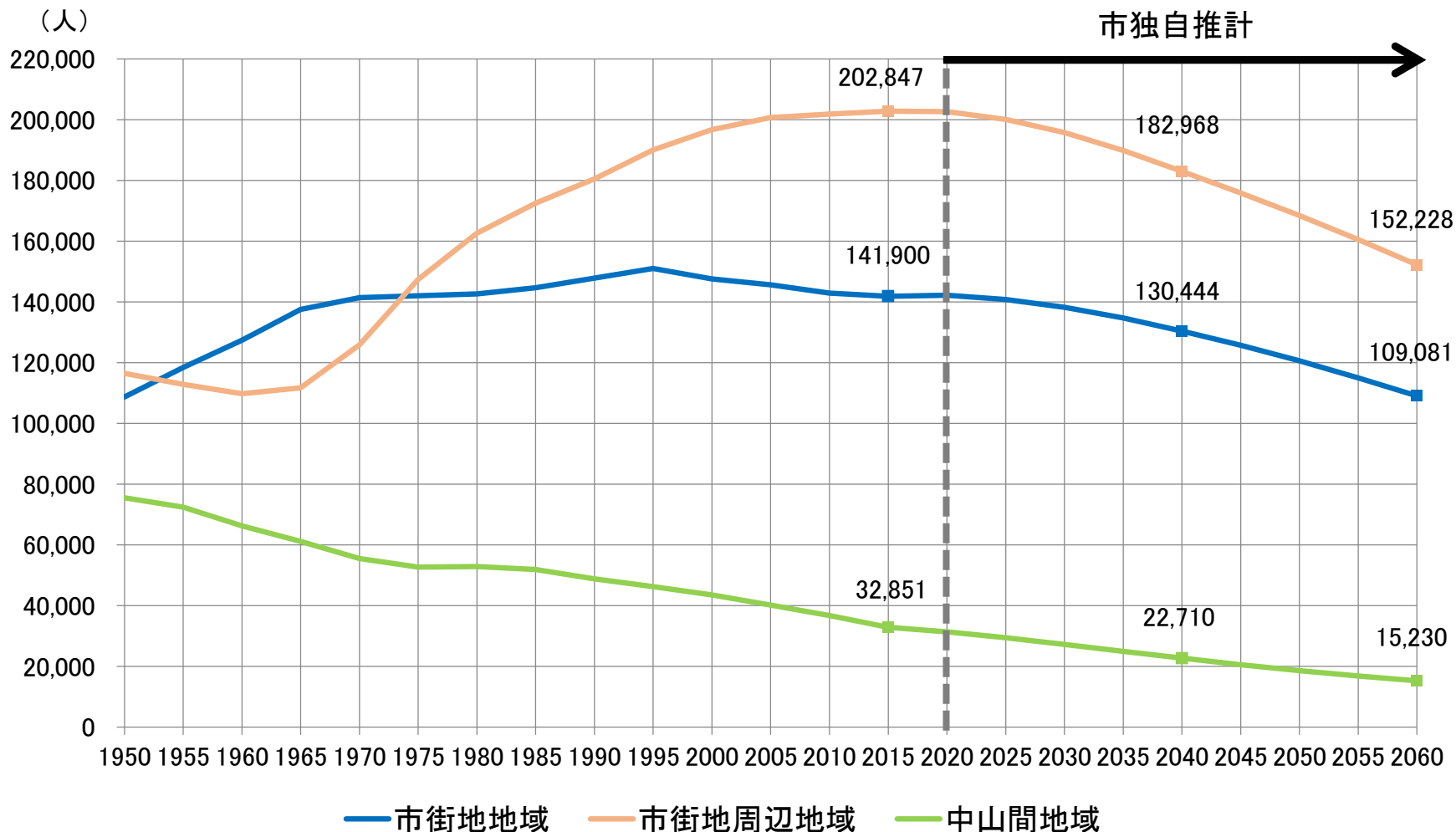
【改訂案】

27.0万人(社人研推計(H30)準拠)

人口ビジョン改訂版の主な内容

第1章 人口の現状分析

●地域別人口の推移と将来推計

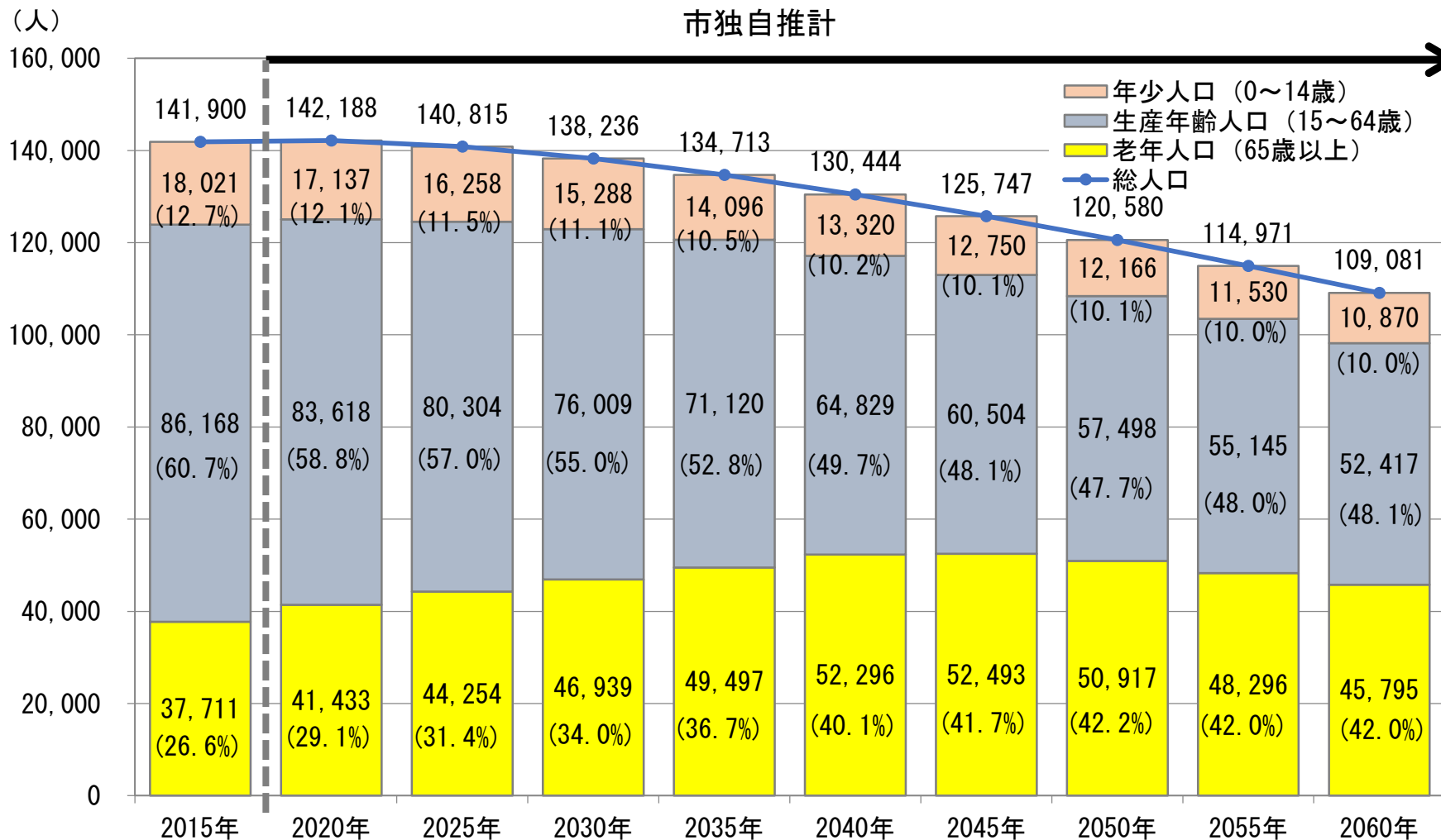


資料：2015（平成27）年までは国勢調査。2020（令和2）年以降は市独自推計による。

(1) 市街地地域（年齢3区分別人口の将来推計）

■ まちづくりアンケートに基づく10地区

第一、第二、第三、第四、第五、芹田、古牧、三輪、吉田、安茂里

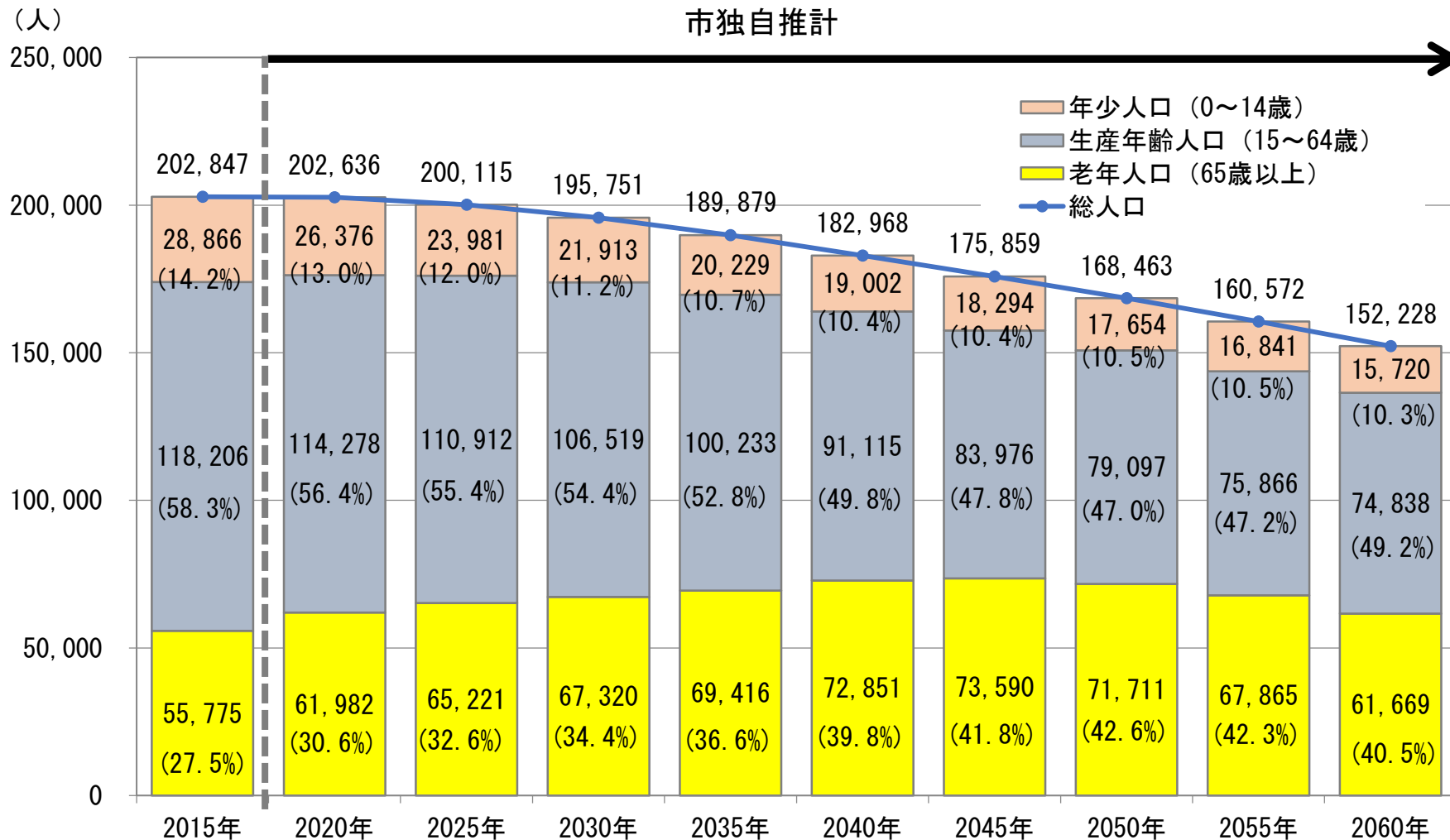


資料：2015（平成27）年は国勢調査。2020（令和2）年以降は市独自推計による。

※ 総人口の数値と年齢3区分別人口の各数値の合計は、端数処理の関係で必ずしも一致しない。

(2) 市街地周辺地域（年齢3区分別人口の将来推計）

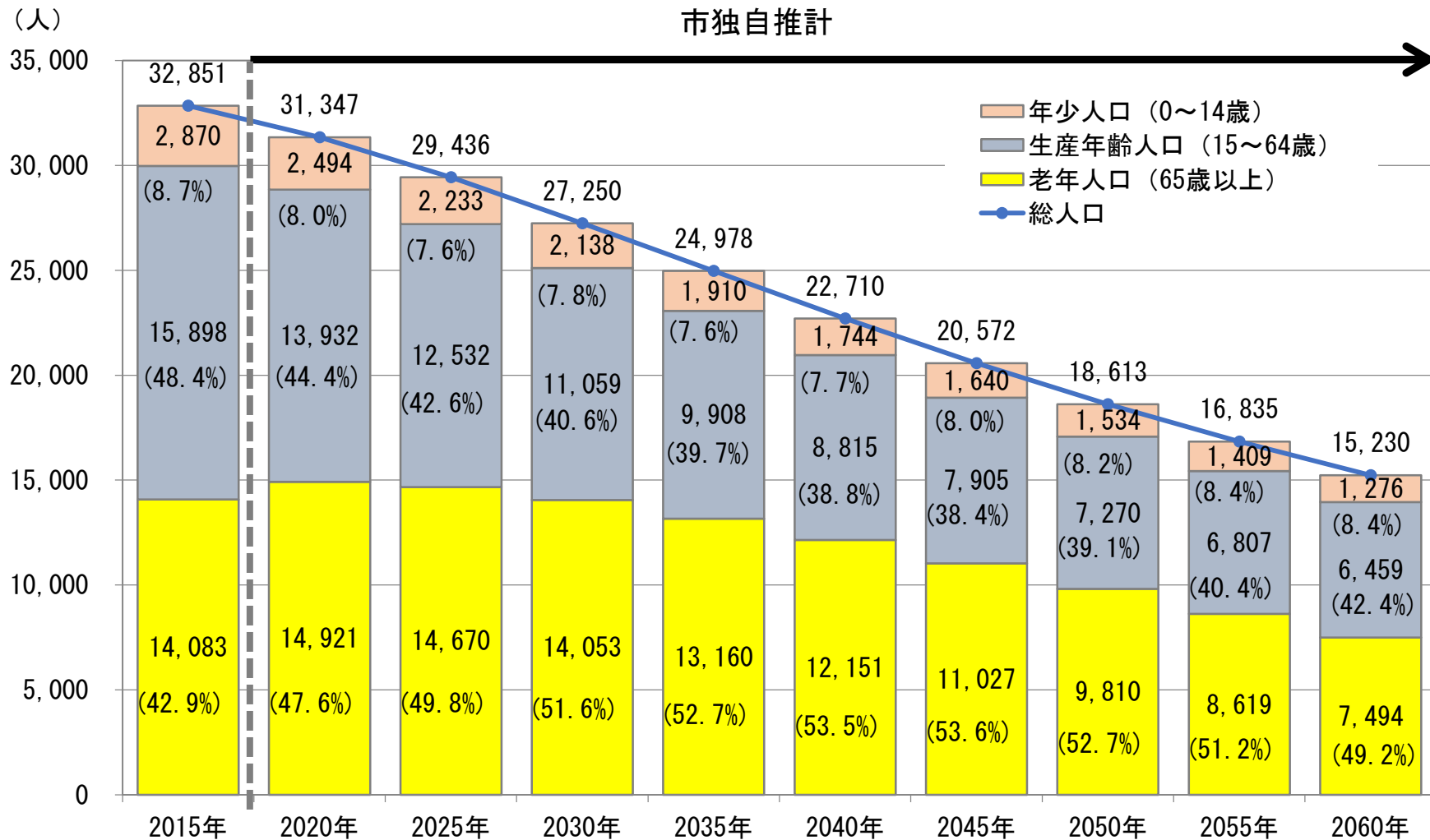
■ 市街地地域及び中山間地域以外の地区
 古里、柳原、大豆島、朝陽、若槻、長沼、篠ノ井（信里を除く）、松代（豊栄・西条を除く）、
 若穂（保科を除く）、川中島、更北、豊野



資料：2015（平成27）年は国勢調査。2020（令和2）年以降は市独自推計による。
 ※ 総人口の数値と年齢3区分別人口の各数値の合計は、端数処理の関係で必ずしも一致しない。

(3) 中山間地地域（年齢3区分別人口の将来推計）

■ やまざと振興計画に基づく13地区
 浅川、小田切、芋井、篠ノ井(信里)、松代(豊栄・西条)、若穂(保科)、七二会、信更、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条



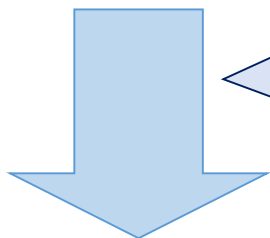
資料：2015（平成27）年は国勢調査。2020（令和2）年以降は市独自推計による。
 ※ 総人口の数値と年齢3区分別人口の各数値の合計は、端数処理の関係で必ずしも一致しない。

第2章 人口の将来展望

●本市が目指す将来の姿

■ 本市が目指す将来の姿 ■

○人口 2060（令和42）年 27.0万人（社人研推計準拠）



・ 合計特殊出生率	2025（令和7）年に	1.65
	2035（令和17）年に	1.84
・ 社会増減	2025（令和7）年に	移動均衡

○人口 2060（令和42）年 30.0万人（将来展望のシナリオ）

●年齢3区分別将来推計人口の推移の詳細

(万人)	2015(平成27)年 (国勢調査)	2060(令和42)年	
		将来推計人口	社人研推計準拠
総人口	37.8	30.0	27.0
年少人口 (0～14歳) ※下段比率	4.9 (13.1%)	3.8 (12.5%)	2.6 (9.6%)
生産年齢人口 (15～64歳) ※下段比率	22.0 (58.4%)	14.7 (49.2%)	13.1 (48.5%)
老年人口 (65歳以上) ※下段比率	10.8 (28.5%)	11.5 (38.3%)	11.3 (41.9%)

※ 総人口と年齢3区分別の各人口の合計は、端数処理の関係で必ずしも一致しない。
 ※ 年齢3区分別の各比率の合計は、端数処理の関係で必ずしも100%にならない。